

大地震時を想定した消防訓練の様相

訓練時期： 平成 24 年 11 月 18 日(日)

1. 部分訓練 (10 時~12 時)

訓練目標： 救出・避難所資機材の使い方

訓練想定： 救出訓練、避難所運営訓練



1 キャリーフ、レスキューボード (担架) で要救護者を運ぶ



2 ジャッキで人を持ち上げる



3 災害用トイレの使い方



4 マンホールトイレを組み立てる。



5 折りたたみリヤカーを組み立てる



6 発電機を使ってみる

2. 総合訓練（13時30分～15時30分）

訓練目標： 「すぐやること」「任務分担の確認」

訓練想定： 平日15時頃 震度6強の地震発生

対応行動： 「身の安全を図る」、「通報連絡」、「消火活動」、「避難誘導」、「応急救護」



1 訓練想定説明会（流山市中央消防署ご挨拶）



14 避難誘導班（散乱物をよけ避難経路を確保しながら誘導に向かう）



15 応急救護班（エレベーター閉じ込め者の確認、担架で要救護者を救出する）



16 通報連絡班（ホワイトボードに経過を記録、隊長が指揮を取り、119番通報など行う）



17 初期消火班（初期消火活動にあたる）



18 安全防護班（建物への火災発生の呼びかけと進入阻止を行う）、避難完了確認中



19 流山消防署から講評をいただき、反省会を行う。